

宮之城町の半世紀を振り返る

本町が誕生して50年の間に、様々な施策や出来事を経て成長・発展を続けたあゆみを紹介します。今回は、昭和50年～昭和59年までの主な出来事を振り返ります。

◇昭和50年9月

総合グラウンド完成

野球や陸上競技などに使用できる総合グラウンドが完成した。
ナイター施設も完備していたので、一般の方や児童・生徒に多目的に利用された。

◇昭和50年11月

町木に「いぬまき」が決定

四季を通じ緑で強じん長寿を誇り、枝は大きく広がり、剛と美が調和し、品格高い銘木である。また、昔から町民に広く親しまれているとの理由で、応募総数27件の中から「いぬまき」が選考され、11月5日に開かれた町議会の協議を経て制定された。

◇昭和50年11月

町民運動会が開催

昭和43年から途絶えていた町民運動会が開催された。
町民の関心が高く、8,000人以上が参加して各種競技で熱戦が繰り上げられた。
なお、優勝は湯田区だった。



盛り上がった町民運動会（総合グラウンド）

◇昭和51年8月

里村と姉妹町村盟約を締結

戦時中の昭和20年6月から終戦までの3か月間、里小学校の2年生から6年生まで400人余りの児童が、旧山崎村に集団疎開したことが縁となり、宮之城町里村姉妹町村盟約式が8月21日里村で行われた。
この盟約を機に、文化・スポーツ・商工などのあらゆる面で、交流・友好を深め、両町村の教育文化・産業経済の発展が期待された。

◇昭和52年10月

老人福祉バスを購入

高齢者の方々が長い間待ち望んだ26人乗りの「老人福祉バス」を購入した。

バスは、65歳以上の方が教養の向上やレクリエーション活動を目的とする行事・研修などに利用された。

◇昭和53年2月

町立武道館が完成

町民の要望にこたえて文化センター敷地内に町立武道館が完成した。

武道館は、総工事費約3,600万円の鉄骨平屋建てで、柔剣道場各1面、男女更衣室及び控え室が設備された。また、名称は「厳翼館」に決定した。

◇昭和54年9月

宮之城中学校プール完成

宮之城中学校に総工事費4,400万円で待望のプールが完成した。完成を祝って、宮之城高校と宮之城農業高校の県記録保持者が自慢の泳ぎを披露した。

◇昭和55年9月

いぬまき荘が完成

高齢者の福祉の向上を目的に、老人福祉センター「いぬまき荘」が湯田に完成した。

温泉や教養娯楽室、図書室などいつでもゆつくりくつろげるようになっていたので、多くの方々に利用された。

◇昭和55年11月

婦人会スポーツ大会

旧宮之城グラウンドで第1回の宮之城町婦人会スポーツ大会が開催され、婦人会員500人が参加し、女性だけの運動会を楽しんだ。
スポーツには縁が遠い婦人会員も、この日は夫や子ども们的ことも忘れて、競技に応援にハッスルプレーが続出しました。



武道館落成式の様子